

サンパウロ日伯援護協会「やすらぎホーム」施設改修計画

2003年9月20日、「サンパウロ日伯援護協会」(援協)が運営する精神障害者復帰センター「やすらぎホーム」(サンパウロ州グアルーリョス市)に対する草の根無償資金協力の引渡式が開催されました。

同引渡式は、「やすらぎホーム」に於いて、酒井援協副会長、小野ホーム長ら援協関係者及びグアルーリョス市長夫人ら市関係者や日系福祉団体などから約80名が出席して盛大に実施されました。

式典では、酒井副会長、石田総領事ら出席者の挨拶、施設のテープカット、顕彰プレート の除幕式、改修工事の経過説明、改修施設の紹介などが行われました。また出席者は、引渡式の後には催された昼食会において親しく懇談しました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「やすらぎホーム」施設改修計画

被供与団体：「サンパウロ日伯援護協会」

契約署名日：2003年1月10日

供与限度額：US\$62,278

案件概要：本件協力は、同協会が運営する精神障害者復帰センター「やすらぎホーム」の入寮者に対するサービスの維持を図るため、調理場回りの改築、入寮者用トイレ・シャワー室及び施設内廊下の改修並びに流し台、ガスコンロ、冷蔵庫、換気扇等調理場設備を購入する計画に対して行われました。

「やすらぎホーム」は、主に日系人を対象として、現在48名の入寮者を預かり、社会復帰のための心理療法、作業療法、精神科治療等を実施しています。同ホームは築後25年が経過し、施設、設備の老朽化が進み、かねてよりその改修、整備が課題となっていました。本案件の実施により、特に同ホームの衛生面での改善が図られ、入寮者に対するサービスの維持、向上が期待されます。



顕彰プレートを除幕する酒井援協副会長と石田総領事



多くの方々が出席された引渡式



改築された調理場